

アジアに魅せられて、アジアの人の役に立ちたい!

理事 香月 博子

10年以上前から生協の仲間と一緒にアジアの旅を続けてきました。アジアの人たちの優しさに惹かれ、訪問した国は10カ国以上になりました。目的はアジアを知ることと、その国の女性たちとの交流でした。現地ではアジアの女性たちやその生活を支援しているNGOの活動も見学させていただき、その国が抱えるさまざまな問題や課題を知りました。

私にも何かできることはないかとずっと思っていました、その機会が「たなぼた」式に訪れたのです。友人から紹介されて、すぐ近くの方がアジアの支援をしていらっしゃることを知りました。その方が山崎さんでした。

HANDSはミンダナオの少数民族に血の通ったきめ細かな支援を粘り強く続けられていて、今まで何もしてこなかった私には頭の下がることばかり。HANDSは私にとっても居心地のよい場所でした。



アジアには魅力のある伝統工芸が多く、それが開発と共に滅びてしまうことは非常に残念なことです。また人々の健康と教育に関する支援は自立するための必要不可欠なものだと思います。微力ですが私で役に立てることがあればできる限り協力したいと思います。

香月新理事は生活協同組合他、幅広い活動でお忙しい中、今回2年任期の理事をお引き受けいただきました。

社員としては2年半前から活動に参加いただいております、各イベント会場でのハンディクラフトの紹介販売でも活躍いただいております。(山崎)

第12回通常社員総会・報告

5月26日(土)13時半~16時、青葉区区民活動センターで本人出席6名、表決委任34名で各議案が審議されました。

なお、報告及び計画にあるFY基金については、2011年度に受けた匿名希望の寄附を2011年から3年間にわたり、緊急かつ重要な事業に充当させていただく旨、事務局から補足説明させていただきました。

役員改選は、届け出のあった理事6名(古川、安達、前田、太田尻、香月、山崎)監事1名(山口)が選任されました。

以上、すべての議案の承認、議決ののち、報告事項として、「チボリ国際里親の会」からの協働要請(非公式)を伝えて意見交換しました。

第2部は、69号P5に寄稿いただいたジェフリーさんを囲み、ミンダナオやフィリピンの景勝地等訪問先の映像を見ながら歓談しました。(なお、社員会員で、議事録詳細をご希望の方は事務局までご請求下さい)



総会参加の皆様
(社員6名、オブザーバー参加3名)

前列左から、河原・山崎・前田
後列左から、相田・九島・ジェフリー
中島・水野・香月

2012年度 第2回理事会・報告

6月24日(日)13時から15時、カトリック聖イグナチオ教会のテレジアホールで、理事本人出席3名、表決委任3名で、互選により、以下の正副理事長が決まりました。

理事長：山崎登美子、副理事長：古川順一、安達美菜。また、太田尻理事にはこれまで同様イベント企画担当を、ファイナンシャルプランナー資格をお持ちで生協での経験豊富な香月新理事には会計担当をお願いすることにしました。

なお、定款に定めがありながら、これまで空席だった事務局長に、前田理事の就任を理事長から依頼させていただきました。実質的には、事務局専従でもある理事長との二人三脚だと考えています。会員のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

また、チボリ国際里親の会(JOFPA)からの協働要請については、JOFFPA総会の議決に基づく正式な要請文書は未着でしたが、とりあえずHANDS理事会として条件付きの受諾を決めました。(山崎)